令和3年度

文化会館整備工事基本・実施設計業務委託

耐震改修工事設計業務（耐震設計診断）特記仕様書

奈良県文化・教育・くらし創造部文化振興課

耐震改修工事設計業務（耐震設計診断）特記仕様書

業　務　名		文化会館整備工事基本・実施設計業務委託
所　在　地		奈良市登大路町　地内
施 設 名 称		奈良県文化会館
業務完了期日		令和4年11月30日
対 象 施 設		文化会館（施設概要は別紙「耐震診断・ 改修計画の施設別業務委託指示書」による。）
方針・内容等		**1　基準等について** (1)　耐震改修工事に係る設計の診断（以下、「耐震設計診断」という。）は、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」、「建築基準法」、その他本業務に関係する法令及び学校施設整備に関する各種規定に基づき行うものとする。 (2)　耐震診断・その他の改修工事に係る設計の適用基準は、別紙耐震診断・改修用適用基準に従って行うものとする。 (3)　耐震設計診断は電算プログラムを用いて行うものとし、使用するソフトは公的機関の評定を受けているものとする。 **2　現地調査等について** (1)　貸与する設計図書及び「耐震診断報告書」の内容を確認する。 (2)　貸与する設計図書及び「耐震診断報告書」と、現況建築物を照合する。 **3　耐震診断の判定に付された意見（備考等）について** 耐震診断の判定に付された意見（備考等）の対応は、別紙「耐震診断・改修計画の施設別業務委託指示書　4　特記すべき事項」による。 **4　耐震改修診断の方法について** 耐震設計診断の方法は、2次診断を標準とする。 構造及び架構の形態により2次診断以上の診断（3次診断等）、又はそれ以外の方法が必要な場合は、それらの方法によることとする。 なお、耐震診断次数及び解析方法等は、調査職員と協議の上、調査職員の承諾を得ることとする。また、耐震診断次数及び解析方法の変更等による本委託業務料の変更は行わないものとする。 **5　判定について** 耐震設計診断について、公的な機関が設置する耐震診断委員会等の耐震判定を受けること。なお、判定費用については受託者負担とする。 **6　報告等について** (1)　耐震改修工事に係る設計の結果について、別記提出書類一覧に記載の書類等を業務完了期日までに提出すること。 (2)　判定予定日、事前審査予定日等の業務進捗状況を適宜調査職員に報告すること。 **7　その他** (1)　業務の実施にあたって貸与した図書等は、成果品の引き渡し時に返却すること。 (2)　本仕様書に記載のない事項については、調査職員と協議すること。 (3)　要求する性能 重要度係数Ⅱ類(Iso=0.75)以上とする。
貸与図書等	●	奈良県文化会館本館棟　耐震診断報告書　1冊 （耐震診断実施年：H22年、受託業者：株式会社京成設計、判定機関：財団法人なら建築住宅センター） ● 奈良県文化会館本館棟　耐震診断結果分析業務報告書　1冊 （耐震診断結分析年：H31年、受託業者：株式会社 ワールド設計）
そ　の　他	○	

（別記）

耐震改修工事設計業務（耐震設計診断）提出書類一覧

提 出 書 類	**1　報告書（耐震設計診断対象建築物毎に作成すること。）** (1) 提出部数 2部（正・副各1部、書類はA4版、図面はA3若しくはA2版とする。） (2) 書類の体裁 以下に提出書類の標準的な体裁を示す。ただし判定機関の指示等により、追加又は不要となる書類がある場合は調査職員と協議すること。 ア　耐震改修計画判定書（耐震診断判定依頼文（写し）共） イ　耐震診断判定書類の概要 (ｱ) 耐震改修建築物の概要 ・名称等 ・建物規模等 ・設計図書の保存状況 ・使用材料 ・建物概要 ・耐震設計診断の方針（準拠基準等、診断次数、各指標、使用プログラム名、担当者名、診断に際して行ったモデル化等、追加検討の内容等） ・診断実施者氏名、一級建築士免許証の写し及び耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会受講修了書の写し ・使用プログラムの認定書の写し ・施設台帳写し（公立学校等） ・事前審査チェックリスト ・事前審査議事録 ・耐震診断委員会議事録 (ｲ) 耐震改修診断結果の概要 ・形状係数指標SD、経年指標T等の概要をとりまとめたもの ・剛心、重心図 ・柱部材の諸元表（軸組形式） ・CT－F図 ・耐震性能診断表 (ｳ) 外観及び内観写真 (ｴ) 設計図書 ・意匠図 ・構造図 ・その他必要とされる図面 上記図面のCADデータ(データ形式はDXF形式又はJWW形式とする。) (ｵ) 補強設計 ・補強方針 ・X方向の補強 ・Y方向の補強 ・その他非構造部材等の補強 ・補強図面 (ｶ) 現地調査等の資料 ・現地調査等の結果の概要 ・コンクリート・コアの圧縮強度及び中性化深さ測定試験結果 ・エキスパンションジョイントの調査図・写真 ・ひび割れの調査（ひび割れの状況及びヶ所図、写真） ・不同沈下の調査（不同沈下の状況及びヶ所図、写真） ・その他の調査（上記以外の耐震診断に必要とする調査） (ｷ) 荷重及び電算入出力 ・建物重量のチェック ・固定荷重及び積載荷重 ・電算入力特殊荷重等資料 ・電算入力部の出力 ・電算入力結果等出力（耐震診断） (ｸ) 追加検討がある場合はその内容と結果 **2　CADデータ及び電算データ等** (1) CD-ROMで提出（1枚）

耐震診断・改修計画の施設別業務委託指示書

1 対象施設の概要	1　名　称　等 ＜建築物＞ 名　　称 ： 奈良県文化会館 所 在 地 ： 奈良市登大路町　地内 用　　途 ： 文化会館 ＜設計者＞ 名　　称 ： 日建設計工務株式会社 ＜施工者＞ 名　　称 ： 株式会社　奥村組 竣 工 年 ： 昭和４３年 2　建物規模等（「有・無」については〇印を適用） 構　造　：　ＲＣ造　一部Ｓ造 階　数　：　地上３階　地下２階 延べ面積　：　約16，500 ㎡ 地下室　：　(有)・無 ペントハウス等　：　(有)・無 建物高さ　：　20.60　ｍ 3　設計図書等の保存（「有・無」については〇印を適用） 意　匠　図　：　(有)・無　（平・立・断・矩・詳細図等） 構　造　図　：　(有)・無　（伏・軸・各リスト・架構図等） 構造計算書　：　有・(無) 地質調査資料　：　(有)・無 〔その他　　〕 4　特記すべき事項 ＜参考＞耐震診断業務受注者からの意見： ・X方向B1階以外の各階で強度不足となっており、必要とされる耐震性能を満足していない。 ・塔屋（1）のX方向で目標とする耐震性能を満たしていないので、耐震改修（補強）が必要である。 ・ステージプロセニアムが地震時検定比が1.00を超えており、危険性があるので早急な補強を要すると考えられる。 ・大ホール天井については、地震時に天井仕上げ材が破損・脱落する危険性があり、耐震改修が必要である。又、照明器具等について取り付方法を再度確認する必要がある。 ・改修時に壁・柱・梁のひび割れ及び露出鉄筋の補修が望まれる。 ・屋外手摺り及び建具廻り等プレキャストコンクリートの取付部について耐震改修時に調査し、必要により補強を行うことが望まれる。 ・鉄筋種別が設計図書記載の材料であるかを、補強の際に斫り出して刻印を確認するか、引張試験により確認することが望ましい。